

平成30年度 多職種連携推進課程カリキュラム

1 本課程の位置付け

保健・医療・福祉の分野で高度化・専門化・細分化が進む中、ケアを必要とする「ひと」を全人格的な対象としてとらえ、保健・医療・福祉の総合的なサービスを提供することが求められており、領域を超えて専門家が理解しあい、連携・協働する「多職種連携」が必要不可欠となっています。

本課程は、対人援助者として必要な基本的知識の習得とともに、職種間の「連携・協働」を推進するためのスキルを深め、最新の政策動向を踏まえた実践力を養うことをめざすものです。

2 本課程の特徴

(1) 多彩で充実した講師陣

本課程は、ケアが必要な「ひと」を全人格的な対象としてとらえ、「ヒューマンサービス」の実現をめざす、神奈川県立保健福祉大学の理念に基づく、当センター独自の課程です。

保健福祉大学では、「ヒューマンサービス」実現のために、シームレスでトータルなサービスを提供できる人材育成のための教育に力を入れており、本課程では、中村学長をはじめ、専門職連携の専門家や地域の第一線の実践家・実務家（医師・NPO 活動実践家等）など、多彩な講師陣による充実した内容となっています。

(2) 実践的な授業展開

座学による講義に加え、演習やグループワークを多く取り入れ、現場での実践に結びつく力を身に付けられるように工夫しています。

事例検討や相談援助について、基本を学べる選択科目も設定していますので、経験等の差を気にせずに応募いただけます。

さらに、専門分野の科目においては、実際に多職種による本格的な演習・グループワークを体験できることから、これまでの課程修了者から高い評価を得ています。

(3) 働きながら学びやすい設定

原則毎土曜日に開講します。（講師都合により平日開講となる場合もあります。平成29年度はありません。）

また、科目修了認定のための学科試験はありません。学びのまとめのために小論文を提出する科目がありますが、修了認定は出席日数を基本としています。

(4) 多職種・多分野の交流

看護師、社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員、栄養士等、様々な職種・職場の方々と学びながら交流できます。ホンネで話せる様々な職種の仲間を得られると好評です。

3 授業時間・日程と修了要件

(1) 授業時間・日程

①授業時間の設定

分野	基礎分野	専門分野	
必修・選択の別	必修	必修	選択必修
設定時間数	28 時間	24 時間	24 時間×6 科目 (B～G)
卒業要件との関係	受講必須	受講必須	B～Gの中から2科目以上の選択が必須

②日程

- ・入学式：平成 30 年 4 月上旬（日程未定）＊当日はオリエンテーション等を含め 9～17 時（予定）
- ・授 業：平成 30 年 4～12 月 原則毎土曜日に開講
＊講師都合により平日開講の場合あり（平成 29 年度はなし）
- ・卒業式：平成 30 年 12 月後半（日程未定）

(2) 科目区分

必修科目：卒業するために必ず履修しなければならない科目です。

選択必修科目：卒業するために複数科目の中から所定の時間数（2 科目（48 時間））以上の履修が必要な科目です。

(3) 修了要件

- ・卒業には、必修科目と選択必修科目を合わせて、合計 100 時間以上の履修が必要です。
- ・各科目の修了には、3 分の 2 以上の授業の出席が必要です。

4 カリキュラムの概要

【教育目的】

保健・医療・福祉サービスを必要とする地域の生活者が、その人らしい生活を営むことができるように、専門職の連携と協働を推進できる人材を育成する。

【教育目標】

- (1) 対象者が地域で生活することの意義を常に意識し、そのことを自らの専門職活動に活かすことができる。
- (2) 生活者としての対象者を支援する様々な職種との連携と協働を実践できる力を培う。
- (3) 保健・医療・福祉職が多様な価値観の存在を認め、柔軟な思考力・判断力を持って連携と協働を推進できる力を培う。
- (4) 保健・医療・福祉サービスを提供する施設内における多職種連携の実践力を身につける。

【教育内容】

(多少変更することがあります)

分野	科目名 (必修・選択の別)		時間	内容	ねらい
基礎	多職種で支える ヒューマンサービス (必修)		28	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒューマンサービスの理念 ・人間の理解(エンパワメントの理解) ・人間の理解(人間関係論) ・チームケア・チーム医療を支える様々な職種 ・人権と倫理 ・専門職連携(IPW・IPE)の基本 ・保健・医療施策の動向と多職種連携 	保健・医療・福祉サービスを提供する専門職として、人権と生命を尊重した関わりについて自らの姿勢やその在りようを振り返る。保健・医療・福祉サービスを支える職種について理解し、専門職連携の必要性と現状・課題、また多職種連携に関連する政策動向を学ぶ。
専門	A	専門職連携の技術1 (必修)	24	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションと合意形成 ・連携と協働のファシリテーションスキル ・効果的なカンファレンス 	施設内や地域において、多機関・多職種による連携・協働を具体的に展開する上で求められる知識と技術について、講義と演習を通して習得し実践力を高める。
	B	専門職連携の技術2 (選択必修)	24	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を支える制度の動向と多職種連携 ・ケアマネジメントと多職種連携 ・ケアマネジメントの基本 ・ケアマネジメントの技術 	地域を支える制度の動向を踏まえつつ、職種横断的な連携を推進するためのケアマネジメントの基本的かつ具体的な知識と技術について、講義と演習を通して理解を深め、現場での実践に結びつく力を身につける。
	C	個別支援・ チームアプローチ (選択必修)	24	<ul style="list-style-type: none"> ・相談援助の基本 (面接の姿勢と技法) ・チームアプローチの基本と実際 ・多職種によるチームアプローチ 	個別支援の基本として、相談者の立場に立った相談支援を行うための知識・技術を習得する。さらにチームアプローチの原理原則(チームビルディング・メンバーシップ・リーダーシップ等)とその客観的効果を学び、実際の多職種による専門職連携の学びへつなげる。

分野	科目名 (必修・選択の別)	時間	内容	ねらい	
専門	D	地域包括ケアの 実際と多職種連携 (選択必修)	24	<ul style="list-style-type: none"> 在宅療養支援 (訪問看護ステーションの取組) 児童福祉分野の地域包括ケア 障害福祉分野の地域包括ケア 地域包括ケアにおける 就労支援の取組 社会資源の活用と創出 	児童や高齢、障害など様々な状態にある人とその家族が日常生活を営む上で必要な支援について、専門職等の連携・協働による地域包括ケアとしての具体的な支援展開を地域のあらゆる取り組みより学び、実践力を高める。更に演習を通し多職種による社会資源の活用や創出を体感して、地域包括ケアの充実を図る力をつける。
	E	地域アセスメント・ 地域づくりと 多職種連携 (選択必修)	24	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケアシステムの基本 多職種による地域ケア会議 多職種による地域アセスメント 地域づくりのネットワーク構築と コーディネートスキル 	地域包括ケアシステムとそのシステムにおける地域ケア会議などの具体的な展開への理解を深めるとともに、保健・医療・福祉に関する様々な統計資料等の分析を通して、地域アセスメント技術を学び、多職種による地域づくりの方法等を習得する。
	F	安全管理と 多職種連携 (選択必修)	24	<ul style="list-style-type: none"> 安全管理の法的理解 安全管理の実際(介護現場の取組) 多職種による危険予知とその対応 職種横断的な職場づくりと安全文化の醸成 	保健・医療・福祉分野における様々なサービスや支援等における「安全・安心」の視点に着目し、多職種連携・協働による安全管理の取り組みについて学ぶ。
	G	事例検討 (選択必修)	24	<ul style="list-style-type: none"> 事例検討の意義と役割 事例検討 (自己の事例を提出、検討する) 	事例検討の意義と役割について確認した上で、各自の事例検討を通し、多職種との連携や協働についての考察を深め実践力を高める。
	専門分野の設定時間数小計 (168 時間)				※専門分野は、必修の1科目と選択必修の2科目、合わせて72時間を履修することが卒業要件です。(残りの科目を複数選択し、履修することを妨げるものではありません。)
課程の設定時間数合計 (196 時間)					